

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		高校生会事業				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	020303001063
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系上の位置付け								課長名	生涯学習課
政策体系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成						グループ	生涯学習G
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						担当者名	
	施策名	03 青少年の健全育成							
	手段名	03 ③地域教育力の充実							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	05	01	00	青少年対策事業		
法令根拠						桜川市リーダース高校生会会則			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市に在住・在学の高校生による団体。自主企画の運営、各種ボランティア活動、市内イベントへの参加、他市町村高校生会との交流等自分たちでできる範囲で活動を行い、桜川市の活性化及び課題解決に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 市内各中学校及び義務教育学校、高校へチラシを配布し周知。(中学生は、卒業直前の3 (9) 年生を対象に3月初旬頃各中学校へチラシの配布を依頼。) 会議を行う会場の予約及び使用申請等の手続き。 会議の司会進行の補助。 会議録作成及び市ホームページ、広報等へ活動内容を掲載。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
司会進行の補助、会議の会場等の手配	会議の開催	回	0.00	5.00	8.00	8.00	8.00
	企画の実施	回	0.00	1.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市内在住、在学の高校生	高校生会の会員数	人	0.00	9.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
積極性、コミュニケーション能力等を育む課題を見つけ、解決まで導くリーダーシップを身に着ける	企画の参加者数	人	0.00	30.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	0	0	51
		事業費計 (A) 千円	0	0	51
	正規職員従事人数 人	0.00人	2.00人	3.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
				10 需用費	27	
				11 役務費	24	
		合計	0	合計	51	

事務事業名	高校生会事業	事務事業No.	20303001063	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
以前に高校生会はあったが、会員数の減少等により休会となった。令和元年度IBARAKIドリームバス事業で桜川市内の高校生が発表を行っていた。その発表をきっかけに令和2年度に高校生の会員を募集し、活動を再開させた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
次世代のリーダーの育成のためにも、地域の活性化のためにも少人数でも活動を継続する必要がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 青少年活動の充実につながる
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内在住、在学の高校生を対象としているため公共関与は妥当であると考えられる
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 会員の増加により、活発な意見交換からの企画立案及び企画の準備に割く人員の確保等向上余地がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高校生主体の活動を行う場が無くなる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似の事業がないため、廃止等により高校生主体の活動を行う場が無くなる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 会議のお茶代、保険料のみとなるため削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市の抱える課題解決のため高校生にできることを実施することが目的のため、市の課題解決のために還元される。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	会員募集や第1回会議の開催が遅くなり活動が少なくなりました。しかし、中でも高校生の自主的な活動ができたため効果があった。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
第1回会議をできるだけ早く行う。また、会員を増やすため高校生自らが作った会員募集チラシを配布する。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>